

高橋親夫写真展

復

興

大

地



2021年

11/3 [水・祝] → **11/28** [日]

10:00 - 17:00 入場無料 月曜休館

ただし、11/4 [木]・24 [水] は祝日翌日のため休館

せんだい 3.11 メモリアル交流館
3F 展望ギャラリー

私は考える。

震災の復旧・復興は真新しい直線を生み出す作業ではないのか。

そして人間の活動そのものが直線を作り出す行為であり、

私たちはそれとともに生きるということではないのかと。

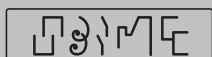
人間の手に取り戻された大地は、

やがて時間とともに普通の田園風景へと戻っていく。

『復興大地』は、高橋親夫さんが、京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）通信教育部写真コース 2014 年度卒業作品として制作した、南蒲生から藤塚までの仙台市東部沿岸地域の大地の写真 25 点の作品です。（2013 年 3 月～2014 年 12 月撮影）

●制作 高橋親夫_たかはしちかお

1947 年、仙台市宮城野区高砂に生まれる。1974 年、1 級建築士取得。1984 年より地域の風景の記録写真を撮り始める。2015 年、京都造形芸術大学通信教育部写真コース卒業。2015 年末から、福島県浪江町、双葉町へ通い写真を撮り続けている。写真集『あの日につづく時間—2011.3.11』



せんだい3.11メモリアル交流館
Sendai 3.11 Memorial Community Center

【企画協力】せんだい 3.11 メモリアル交流館 仙台市若林区荒井字沓形 85-4
(地下鉄東西線荒井駅舎内) [TEL] 022-390-9022

同時
開催

貞山運河記録写真展 vol.1

荒浜から藤塚まで 〈2001年5月撮影〉

せんだい 3.11 メモリアル交流館 1F エントランス



〈貞山運河記録撮影の経緯〉

私は 1984 (昭和 59) 年から 2004 (平成 16) 年まで、都市化する前の高砂地区の記録撮影をしていました。2001 年蒲生の撮影をした際に、子どもの頃の記憶にあった貞山運河が、仙台港築港の際に埋められてしまったことを改めて考えてしまいました。そして他の現存する貞山運河も、いつか蒲生の運河のように都市化によって消えてしまうのではと思い始めました。

その年はちょうど 21 世紀の初めの年 (2001 年)、その記念として阿武隈川から北上川までの全運河を歩き記録しようと決意。南蒲生から南進し、阿武隈川まで、その後大代から北上川まで 13 日間をかけて、徒歩往復の記録撮影をしました。今回の展示写真はその時の荒浜から藤塚までを撮影したものです。その後 2011 年と 2021 年に再び全運河を徒歩で撮影しています。

関連
企画

貞山運河を一緒に歩く

11/21 日 9:50 - 13:15

集合 せんだい 3.11 メモリアル交流館 市営バスで荒浜まで移動します (バス代実費がかかります)

要事前予約→電話かメールでご連絡ください (募集/若干名)

せんだい 3.11 メモリアル交流館 [TEL] 022-390-9022 [Eメール] office@sendai311-memorial.jp

2021 年 11 月の荒浜から藤塚方面の貞山堀沿いを、親夫さんと一緒に歩きます。

親夫さんのお話を聞いてみたいという人、記録すること・写真に興味のある人、沿岸部を訪れてみたかったという人、いずれかの理由で希望される方は交流館までお問合せください。カメラをお持ちの方はどうぞご持参ください。